

清水流下気化式加湿器

UC-EM1/EU1 型

取扱説明書

要保存

この度は清水流下気化式加湿器をお買上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、取付け、保守、点検を行って下さい。
取付け完了後はお使いになる方がいつでも見られるところに保管して下さい。

もくじ

安全上のご注意.....1	4) 運転方法.....7
1) 仕様.....2	4-1. 試運転方法
2) 本体外形図.....2	4-2. 通常運転
2-1. UC-EM1 型	5) 保守管理.....8
2-2. UC-EU1 型	5-1. メンテナンス周期
2-3. 電気回路図	5-2. シーズンオフの手入れ
3) 加湿器の取付け.....4	5-3. ストレーナーの清掃
3-1. お取り扱い上のご注意	5-4. ストレーナーの清掃方法
3-2. 本体取付け工事	6) 異常発生時の対応.....10
3-3. 付属品	6-1. 故障の診断と処置
3-4. 給水キットの取付け	7) メンテナンス部品交換周期.....11
3-5. 加湿器本体の取付け	
3-6. 給水配管	
3-7. 電気工事	

安全上のご注意

- 取付け工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ取付けて下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取扱をすると人が死亡したり、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取扱をすると人が ^{*1} 傷害を負ったり、 ^{*2} 物的損傷の発生が想定される内容を示します。

*1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などを指します。

*2 物的損傷とは、財産、資材の破損にかかわる拡大損傷を指します。

- 取付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様に取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明して下さい。また、この取扱説明書はお客様で保管いただくよう依頼して下さい。

警告

取付け工事は、販売店または専門業者に依頼すること

ご自分で据え付け工事をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。

取付け工事は、この取扱説明書に従って確実に行うこと

据え付け工事に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および取扱説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用すること。

電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部分にケーブルの外力が伝わらないように固定すること
接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。

部品交換などの保守を行う際には必ず電源を切ること

感電の原因になります。

注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないこと

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になります。

直射日光や風雨が直接当たる場所へは設置はしないこと

感電や故障の原因になることがあります。

加湿器本体を使用する場合は必ず空調機とインターロックを取ること

空調機とインターロックをとらない場合は、空調機のファンが停止後も加湿運転は継続され、空調機やダクト内に結露を生じ、水漏れや感電の原因になります。

給排水工事は配管工事専門の業者に依頼すること

ご自分で配管工事をされると、水漏れの原因になります。

ドレンパンおよびドレン配管は、確実に排水するように施工すること

配管工事に不備があると水漏れし、施設や物品を濡らす原因になることがあります。

加湿器の故障による運転停止により、保管物に重大な影響を及ぼす恐れがある場所に設置する場合には予備機の設置をおすすめします。

事故により損害が発生すると予想される場所に設置する場合には、二重、三重の安全対策を行うこと
湿度調節器やリレー、送風機の故障で結露や水漏れし、施設や物品を濡らす原因になることがあります。

アースは必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には接続しないで下さい。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

1) 仕様

機種	清水流下気化式加湿器			
型式	UC-EO1-45	UC-EO-60	UC-EO1-75	UC-EO1-85
加湿モジュール奥行寸法	53 mm	103 mm	153 mm	203 mm
適用飽和効率 ※1	($\frac{h}{h_s}$ スタイル) $\leq 35 \sim 50\%$	51~60%	61~75%	76~85%
使用面速 ※2	1.5~4.0m/s	1.5~4.5m/s	1.5~4.5m/s	1.5~4.5m/s
加湿エレメント材質	吸水性高分子複合ファイバー(ハニカム接着・積層タイプ)			
エレメント耐熱温度	120℃			
エレメント燃焼性	UL94規格 HF-2 相当			
衛生面	抗菌・抗カビ処理、食品衛生法に適合 (JIS L-1902「繊維製品の抗菌性試験」に合格/ JIS Z-2911「カビ抵抗性試験」に合格)			
主要部品	加湿器モジュール(加湿エレメント・散水装置・給水キット・本体ケース)			
電源	単相 AC200V(50/60Hz)			
定格消費電力	6.7 / 5.7W (50/60Hz)			
使用条件	周囲温湿度	モジュール本体：2℃~60℃ 給水キット：2℃~50℃ 90%RH 以下		
	給水温度	2℃~40℃		
	給水圧力	給水量が 0.6~5.5 ℓ /min の場合 給水入口圧力：0.08~0.7MPa 給水量が 0.59 ℓ /min 以下の場合 給水入口圧力：0.08~0.5MPa		
	給水水質	市水(水道法の水質基準に適合)		
	空気入口 ※3	重量法で 75%以上のエアフィルターを設置して下さい		

※1 本数値は標準的な適用範囲を表しております。詳細は当社選定時の別途専用図をご参照下さい。

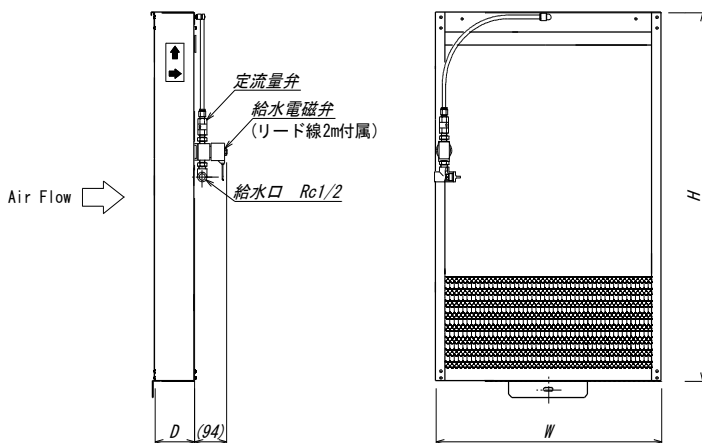
※2 使用条件、加湿器のサイズ等によってはこれ以下になる場合があります。

※3 外気処理空調機の場合は特に必要です(空調機に同等以上のエアフィルターが組み込まれている場合には不要です)。

※4 加湿器の供給水は市水(水道法の水質基準に適合)を使用して下さい。日本では建築物衛生法、通称ビル管理法で「加湿器に供給する水は、水道水質基準を満たす水を用いること」が義務づけられています。井戸水、中水、工業用水では支障がありますのでメーカーにご相談下さい。又、供給水は公共の水道管から直接接続する事は出来ません。このような場合にはシスターン(型式認可品)をご使用下さい。

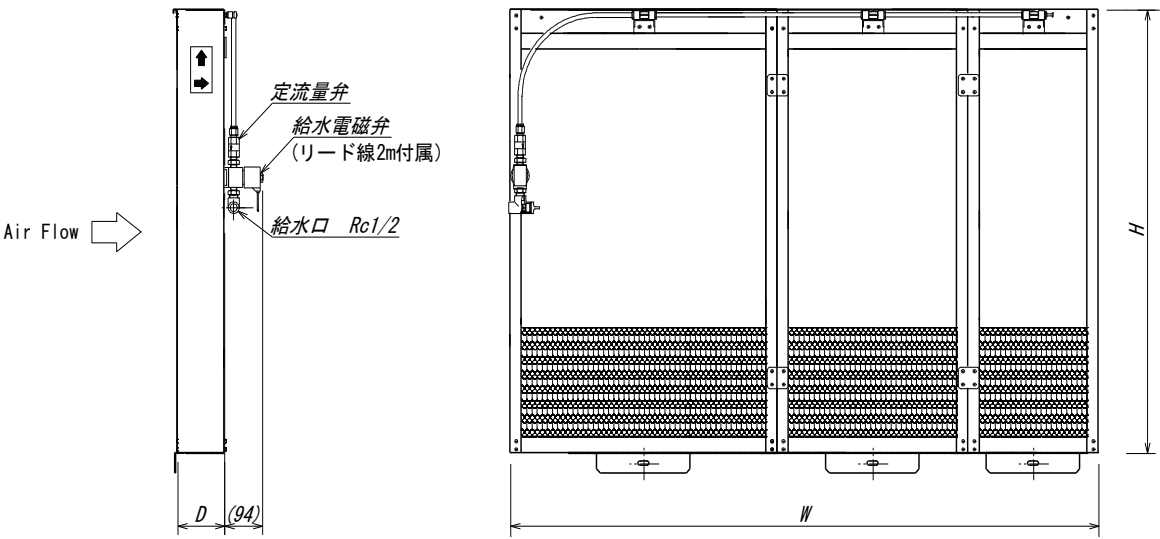
2) 本体外形図

2-1. UC-EM1 型



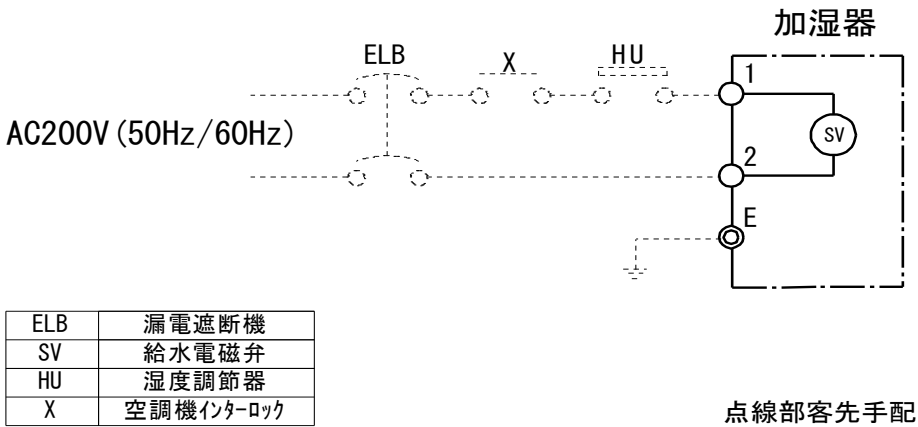
※ 本図は標準的な形状を表しております。本製品の外形寸法はお客様の設計条件に合わせ製作しております。詳細は別紙専用図面をご参照下さい。

2-2. UC-EU1 型 -----



※ 本図は標準的な形状を表しております。本製品の外形寸法はお客様の設計条件に合わせ製作しております。
詳細は別紙専用図面をご参照下さい。

2-3. 電気回路図 (UC-EM1 /UC-EU1 型共通)



※ 本図は標準的な電気回路図を表しております。異電圧仕様の場合及び詳細は別紙専用図面をご参照下さい。

3) 加湿器の取付け

3-1. お取り扱い上のご注意

1. 連続 24 時間運転で使用される場合には、タイマーなどを設置し 1 日 1 時間以上のドライ運転をするようなシステムを組んで下さい(強制乾燥)、もしくは加湿モジュールを 2 段にし交互乾燥運転するようなシステムを組んで下さい(給水量の節水にもなります)。
2. 加湿器の入口には、重量法で効率 75%程度以上のエアフィルターを設置して下さい。
3. 空気入口温度は 2~60℃、給水温度は 2~40℃の範囲内で御使用下さい。
4. 給水圧は 0.08~0.7MPa の範囲内で御使用下さい。(給水量により上限 0.5MPa※1)
5. 加湿器の供給水は市水(水道法の水質基準に適合)を使用して下さい。井戸水、中水、工業用水では支障がありますのでメーカーにご相談下さい(但し、水道水であってもミネラル成分が多い場合には、蒸発残渣により白粉が発生する場合がありますので注意が必要です)。又、供給水は公共の水道管から直接接続する事は出来ません。このような場合にはシスターン(型式認可品)をご使用下さい。
6. 給水量を絞って運転する事は絶対にやらないで下さい。定流量弁で適量に自動調整されています。(給水量を減少させると不純物の堆積、異臭の発生等が生じる場合があります。)
7. 給水を気化式加湿器モジュールに通水する前に、充分フラッシングをして下さい。(特にリニューアル設置の場合は、運転初期既設配管内の不純物除去の為に注意が必要です)
8. 加湿モジュールは運転初期及び毎年の加湿シーズンインの運転時に必ず 30 分以上水洗浄して下さい。(工事期間中もしくはシーズンオフ中に加湿エレメントに付着したダスト、臭気物質などの除去の為)
※ 方法は給水電磁弁強制“開”(標準付属品の場合)又はバイパス(ホース付属品の場合)で手動洗浄。
※ 本項の注意事項は、加湿モジュールケーシング上部にラベルで貼ってあります。
9. 加湿シーズンインの運転時には、ストレーナー・定流量弁・電磁弁の定期的な清掃をして下さい。
10. 加湿シーズンオフ中は加湿モジュールを取り外し保管される事を推奨致します。(省エネ、加湿器の寿命を延ばす、及び給気中のダスト、臭気物質等の付着防止)
11. 加湿シーズン終了時には、給水元弁を“閉”にして下さい。
12. 加湿エレメントを高圧水や、蒸気、又は金属ブラシ等で洗浄しないで下さい。
13. 加湿モジュール脱着時、若しくはメンテナンス時には加湿エレメントを損傷しないように注意して下さい。
14. 加湿エレメントの汚れがひどい場合、若しくは異臭がする場合には、加湿エレメントの交換、または弱アルカリ性の洗浄剤(酸素系漂白剤など)の洗浄液中に浸漬して殺菌、消臭後、水で十分リンスして下さい。
15. 冬季、凍結が予想される場合には、給水キット配管内の水抜きをして下さい。

※1 給水量 $\leq$ 0.59L/min の場合

3-2. 本体取付け工事

警告

取付工事は、販売店または専門業者に依頼すること

ご自分で据え付け工事をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。

据え付け工事は、この取扱説明書に従って確実に行うこと

据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

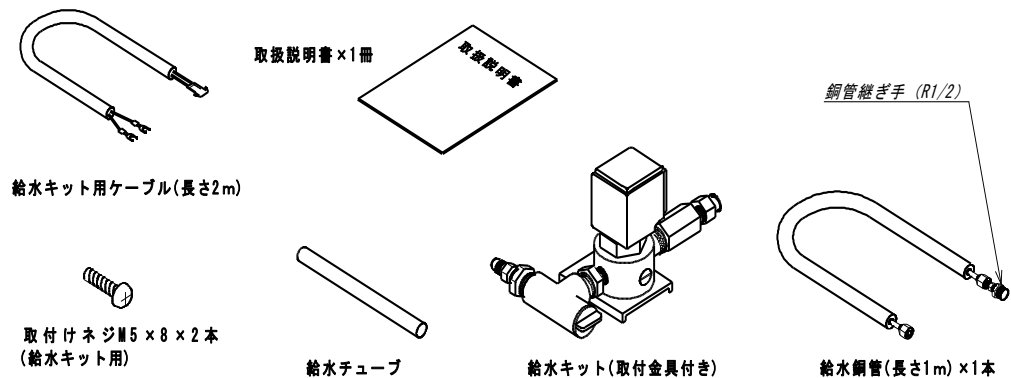
注意

給排水工事は配管工事専門の業者に依頼すること

ご自分で配管工事をされると、水漏れの原因になります。

取付け工事に際し、本体に付属している正規部品のみを使用して下さい。

3-3. 付属品

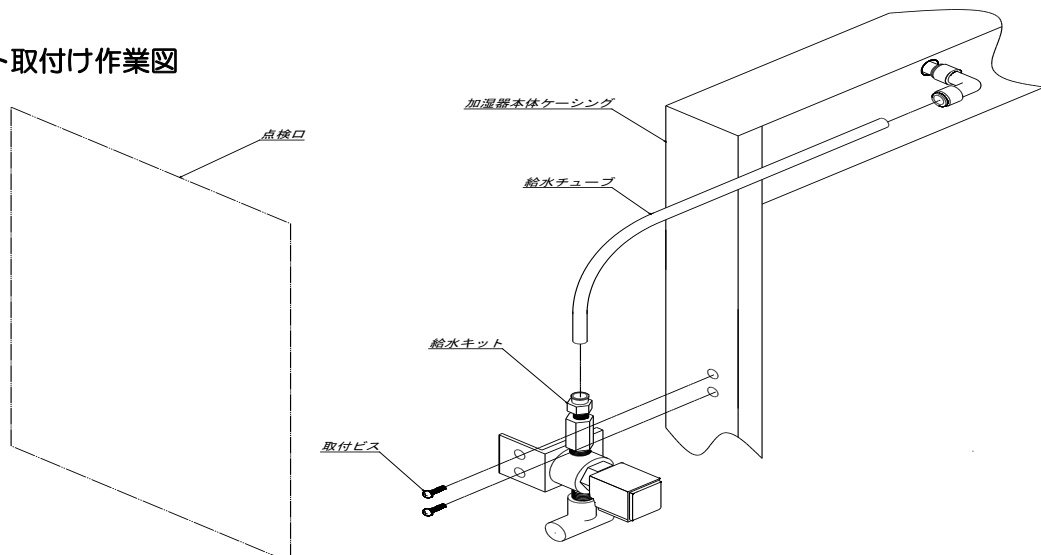


(本図は標準的な付属内容を表しております。)

3-4. 給水キットの取付け

- 給水キットの取付けは付属ビス(M5×10)にて行って下さい。
- 給水キットは本体ケーシングの側面(2箇所ビス止め)にしっかりと固定して下さい。
- 給水キットは保守点検が容易に行える様、点検口側の本体ケーシング側面に取付けて下さい。
- 給水キットから加湿器へは付属の給水チューブにて配管して下さい。
- 給水チューブはワンタッチ継ぎ手にしっかりと差し込んで下さい。
- 給水キット取り付け後、電磁弁の電線の取り出し口を下へ向けてください。(耐防水向上の為)

給水キット取付け作業図



(本図は標準的な形状を表しております。)

3-5. 加湿器本体の取付け

別紙専用図面参照

3-6. 給水配管

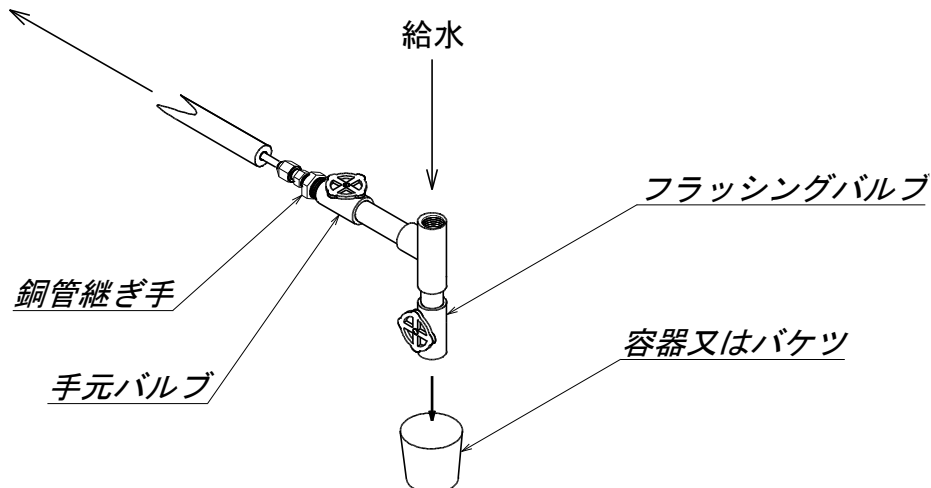
 注意
給排水工事は配管工事専門の業者に依頼すること ご自分で配管工事をされると、水漏れの原因になります。
給水圧は0.08～0.7MPa(0.8～7kgf/cm ²)※1の範囲で使用する 機器破損や水漏れの原因になりますので0.7MPa(7kgf/cm ²)※1を超える場合は、減圧弁(現地手配)をストレーナーの 前に取り付けて下さい。(減圧弁：(株)ヨシタケ製 GD-15型、又は同等品) ※1 給水量≥5.6L/minの場合は0.5MPa
ウォーターハンマーの起きる恐れがある場合には、水撃防止器を取り付けること 機器破損や水漏れの原因になります。(水撃防止器：(株)ベン製 WHA-1N型、又は同等品)

注意：加湿器をご使用する前に必ず給水配管のフラッシングを行い、供給水中の有機成分(切削油、腐敗物質)、赤錆等を取り除いて下さい。

- 水圧は適正給水量を確保する為に、給水入口圧力は下限値以上を遵守して下さい。
(特に屋上、最上階設置の場合にはご注意下さい。)
- 水圧は0.08～0.7MPa(給水量により上限0.5MPa)の範囲でご使用になれます。
水圧がそれ以上かかる場所では減圧弁を設けて下さい。
- 給水配管は加湿器の付属給水銅管(長さ1m)で接続できる位置に引込み、バルブ(Rc1/2)止めにして下さい。
- 付属品の銅管継ぎ手(R1/2)をバルブに取り付け、給水銅管を接続し、反対側を給水キットに接続します。フレアーナットの締付けは二丁スパナで水漏れの無いように確実に締付けて下さい。
- 給水配管は、結露防止のため必要に応じて保温して下さい。
- 加湿器に給水する前に一度フラッシングバルブを開け、しばらく放水し、配管の中のゴミを外部へきれいに流し去って下さい。

フラッシング作業図

加湿器給水キットへ



3-7. 電気工事

警告

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および取扱説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用すること。

電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部分にケーブルの外力が伝わらないように固定すること。接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。

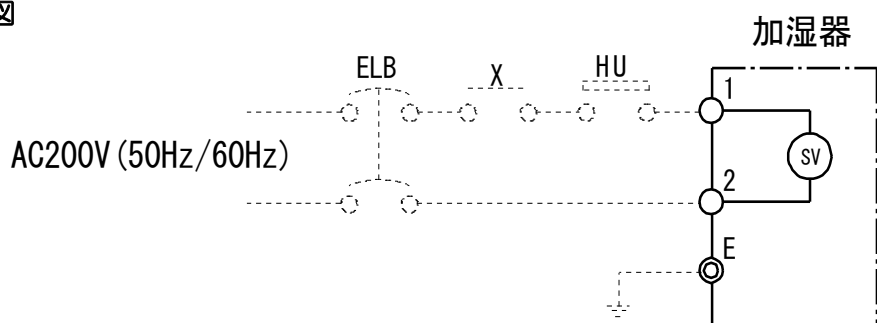
アースは必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には接続しないで下さい。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

電気関連の作業を行う前に、加湿器への電源は全て切ってから行って下さい。

電気回路図



ELB	漏電遮断機
SV	給水電磁弁
HU	湿度調節器
X	空調機インターロック

点線部客先手配

- 回路図 1 番・2 番に極性はありません。
- 給水キット（給水電磁弁）の配線は付属のケーブルにて行って下さい。
- 電源側端子への接続は緩みが無い様、しっかりと接続して下さい。

4) 運転方法

4-1. 試運転方法

- 工事終了後、運転開始に先立ちもう一度、給水配管、配線接続をチェックし、フラッシングを行い、正しく施工されているか再度確認して下さい。
- 給水手元バルブを開き電源スイッチを ON にして下さい。
- 空調機からのインターロック信号、湿度調節器からの運転を確認して下さい。
- 空調機からのインターロック信号、湿度調節器からの運転信号の双方が ON の状態で給水電磁弁が開きます。
- 給水電磁弁の「開」が確認出来たら、各外部信号（空調機のインターロック・湿度調節器）との連動を確認して下さい。
- 外部信号との連動確認後、湿度調節器の設定を希望する相対湿度に設定して下さい。

注意） 外部信号との連動確認は、湿度調節器を室内湿度より高く設定して、加湿運転を確認し、次に湿度を低く設定して加湿運転が停止することを確認して下さい。また、加湿運転中に空調機が停止したとき、加湿停止になることも確認して下さい。

4-2. 通常運転

- ① 給水バルブを開く。(長期停止の場合は配管内のフラッシングを先に行ってください)
- ② 加湿器の主電源スイッチを ON にする。
- ③ 湿度調節器の目盛りを希望する相対湿度にセットする。
- ⑤ 空調機とインターロックされていますので、空調機が運転すると加湿器の運転を開始します。
- ⑥ 以後、空調機の運転中は、湿度調節器からの信号により、室内湿度を自動制御します。

- 注意**
- 異臭発生・スケールの堆積防止の為に、給水量の比例・タイマー制御はしないで下さい。
 - スケールなどの付着防止の為に給水量は定流量弁で適正量に設定され、一次側の給水圧が変動しても自動調整されるようになっています。給水元弁等で減水しないようにして下さい。
 - 快適な湿度を維持する為に、室内相対湿度の設定は、「ビル管理法」で規定されている通り 40%RH 以上に設定して運転して下さい。
 - スライムなどの発生防止の為に、24 時間連続条件で使用される場合は、1 日 1 時間程度のドライ運転をして下さい

5) 保守管理

警告

部品交換などの保守を行う際には必ず電源を切ること
感電の原因になります。

5-1. メンテナンス周期

項目	時期（周期）	内容
①配管のフラッシング	運転初期・毎シーズンイン	ストレーナープラグを取外し 給水管内不純物除去
②ストレーナー掃除	運転初期（さらに 2～3 日後） 毎シーズンイン	ストレーナープラグを取外し 内部メッシュ清掃
③加湿器モジュールの水洗浄	運転初期・毎シーズンイン	送風機停で 30 分程度。手動開機能付き 電磁弁のロッド開で水洗浄
④給水キットの水抜き	運転初期・毎シーズンオフ	ストレーナープラグを取外し管内水除去
⑤加湿器モジュール取外し	加湿シーズンオフ中	加湿シーズンオフ中は加湿モジュール取 外し保管されることを推奨
⑥薬剤洗浄	加湿シーズンイン	汚れがひどい、または異臭がする場合は加湿 モジュールを取り外し、加湿エレメントを弱 アルカリ性の洗浄液に浸漬、洗浄

5-2. シーズンオフの手入れ

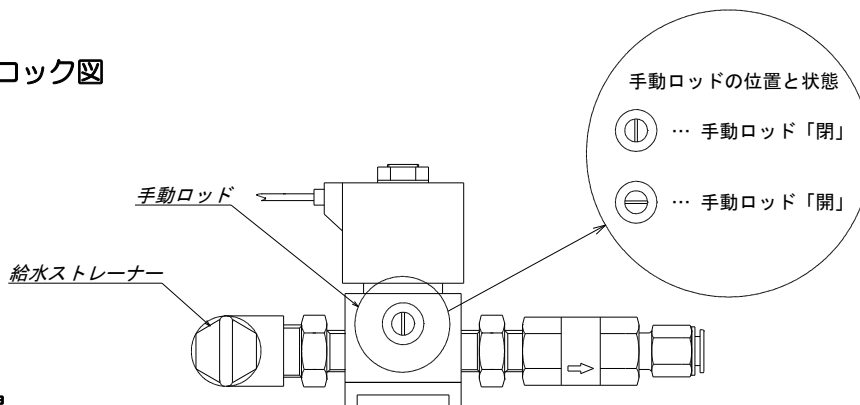
- シーズンオフや長期間加湿器を使用しない場合は、加湿器元電源を切り、加湿器配管内の水を空にしてください。
- 給水電磁弁の手動コックの開閉はマイナスイボーターなどを用いて行って下さい。
- 目詰まり防止の為に、ストレーナー及び定流量弁は定期的に清掃して下さい。
- 寿命を維持する為に加湿エレメントは定期的に点検して下さい。又、使用しない期間が長い時は省エネの為に、加湿モジュールを取り外し保管される事を推奨致します。
- 腐敗臭及び凍結防止の為に、加湿シーズン終了時又は寒冷地では給水元を“閉”にして給水配管内水を排水して下さい。(電磁弁を手動“開”にして、ストレーナーのプラグを外します。)

- 注意
- 水抜き終了後手動コックは必ず「閉」にして下さい。(工場出荷時「閉」)
 - 加湿器以外に起因する異臭発生防止の為に、冷、温水コイルのファン、エアフィルター、全熱交換機ローターはそれぞれ取扱説明書に基づき定期的に洗浄、清掃、交換等を実施して下さい。

水抜き作業手順

給水バルブを閉じた後、ストレーナープラグを外し、給水電磁弁内蔵の手動ロッドにて電磁弁を開き配管内の水抜きを行って下さい。水抜き完了後、電磁弁のロッドは「閉」として下さい。

給水電磁弁手動コック図



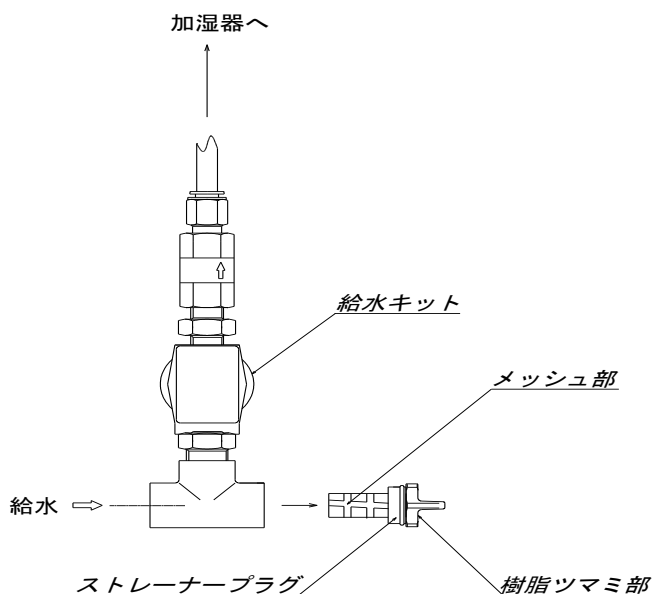
5-3. ストレーナーの清掃

ストレーナーへ異物が詰まると円滑な給水が出来ず、故障の原因になります。
シーズンオフよりの運転開始時、又は 3～6 ヶ月毎に必ず清掃して下さい。

5-4. ストレーナーの清掃方法

1. 加湿器本体の電源を切して下さい。
2. 給水バルブを閉にして下さい。
3. 下図のようにストレーナープラグをはずし (反時計回りに回す)、ストレーナープラグのメッシュ部分を水洗いして下さい。
4. 清掃がすんだら時計回りにストレーナープラグを回し、ストレーナープラグの樹脂ツマミ部がボディー部に密着し完全に締切りであることを確認して下さい。(手締め締切り) 水漏れがないようしっかりと固定して下さい。
5. 給水バルブを開にして、ストレーナープラグ部より水漏れのないことを確認します。

ストレーナー分解図



6) 異常発生時の対応



警告

部品交換などの保守を行う際には必ず電源を切ること
感電の原因になります。

6-1. 故障の診断と処置

項目		原因	処置
A. 通水運転しない	給水ライン	給水元バルブが閉まっている	バルブを開く
		断水している	確認する
		給水圧力不足	確認し改善する (ブースターポンプ)
		ストレーナーの目詰まり	清掃する
		電磁弁の動作不良 (目詰まり・焼損)	※サービスコール
		定流量弁の目詰まり	清掃する
	電源ライン	正規の電圧が供給されない	確認し改善する
		漏電遮断器 (電源) が入っていない	スイッチをONにする
		空調機が運転していない。 (ファンインターロック)	空調機を運転する
		湿度調節器が不良	電源チェック・交換
		湿度調節器の設定値が低い	設定値を確認後、変更
		電磁弁接続不良	電源チェック・接続チェック
B. 加湿量不足	給水ライン	給水弁を絞っている	全開にする
		ストレーナー目詰まり	清掃する
		給水量不足 (給水圧不足)	確認し改善する
		電磁弁・定流量弁不良	※サービスコール
	加湿エレメント	ダストの付着、スケールの堆積による 目詰まり等による性能低下	加湿器エレメント洗浄若しくは交換
		偏流もしくはバイパス風量大による 性能低下	確認し改善する
C. 漏水	給水ライン	給水配管 (軟銅管・ホース) の接続からの水漏れ	※サービスコール
		減圧弁不良による過剰水での水飛散	※サービスコール
		凍結による給水ホースの破損による水漏れ	※サービスコール
	排水ライン	ドレンパン排水管の目詰まり	清掃する
		排水配管トラップの不良	確認し改良する
		排水配管径及び勾配不良	確認し改良する
	加湿エレメント	ダストの付着、スケールの堆積による 目詰まり、若しくは吸水性の低下で水 飛散する	加湿エレメント洗浄若しくは交換。 ※サービスコール
D. 異臭	給水ライン	給水量不足で自己洗浄作用が損なわれ加湿エレメントが汚れる	A.項の給水ライン及びB.項の給水ライン参考。 加湿エレメント洗浄若しくは交換。
		水質が悪い (腐敗臭)	加湿エレメント洗浄若しくは交換。
	排水ライン	ドレンパン上に排水が停滞している	C.項の排水ライン参照 清掃をする
		排水管からの異臭	排水トラップの施工
	加湿エレメント	経時的な加湿エレメントの汚れ及び、 臭気物の付着	加湿エレメント洗浄又は交換する
	その他	加湿器以外の付帯機器からの間接的な吸着	確認後対処する

6-2. 6-1 の対処で解決出来ない場合には、加湿器の電源(操作パネルに取付け)を切り給水手元バルブを閉めて、施工業者、メンテナンス会社又は、ユーキャン株式会社営業所又は本社へ連絡して下さい。

本 社	●〒193-0832	東京都八王子市散田町5-6-19 TEL. 042-665-8846 FAX. 042-661-3887
東京営業所	●〒160-0022	東京都新宿区新宿1-1-7 コスモ新宿御苑ビル5F TEL. 03-5379-1461 FAX. 03-5379-1460
大阪営業所	●〒541-0046	大阪市中央区平野町1-7-14 平野町グランドビル TEL. 06-6227-1317 FAX. 06-6227-1319
名古屋営業所	●〒460-0002	名古屋市中区丸の内3-21-23 宇佐美丸の内ビル TEL. 052-385-3298 FAX. 052-385-3606
福岡営業所	●〒812-0027	福岡市博多区下川端町1-3 明治通りビジネスセンター別館 TEL. 092-281-9241 FAX. 092-281-9244

7) メンテナンス部品交換周期

部品	交換周期	交換目安
給水電磁弁	5 年	劣化・目詰まり
定流量弁	5 年	劣化・目詰まり
給水配管	10 年	劣化・水漏れ
加湿エレメント	3～5 年（1000 時間/年）	飽和効率低下・目詰まり
本体ケーシング・散水カバー	10 年	腐食
ストレーナー	10 年	劣化・目詰まり
散水パイプ	10 年	散水穴目詰まり

製品の寿命、部品の耐用年数については、設置条件、運転条件、メンテナンス状況が千差万別であり、限定する事は困難です。上記年数は取扱説明書及び本体貼付ラベルに基づいた使用及び定期的なメンテナンスを行って頂いた上での一般空調条件の場合の目安です。（24時間連続運転の場合、又は給水水質により上記交換周期の約 1/3（1000 時間）になる場合があります。）

保証規定

1. 本製品の保証期間は、工場出荷後から一年間です。
2. 保証期間中の「正常な使用状態」において「製造上」の責任による故障が発生した場合は無償修理を行います。
3. 次の各号につきましては「保証対象外」ですので有償となります。
 - (イ) 添付の使用説明書の説明をお守りにならなかったために発生した故障の場合
 - (ロ) 故障原因が本器以外による故障の場合
 - (ハ) お客様が商品に改造を加えたために発生した故障の場合
 - (ニ) 天災、火災その他不測の事故による故障の場合
 - (ホ) お買いあげ後の輸送、移動などによる故障の場合
4. 遠隔地へ出張サービスを行った場合の宿泊及び交通の費用は、弊社旅費規定によりその費用を 請求させていただきます。
5. 本商品の保証修理以外の補償はいたしかねます。
6. 本保証は、日本国内においてのみ有効です。

UCAN®

ユーキャン株式会社

本 社 ●〒193-0832

東京営業所 ●〒160-0022

大阪営業所 ●〒541-0046

名古屋営業所 ●〒460-0002

福岡営業所 ●〒812-0027

東京都八王子市散田町5-6-19

TEL. 042-665-8846 FAX. 042-661-3887

東京都新宿区新宿1-1-7 コスモ新宿御苑ビル

TEL. 03-5379-1461 FAX. 03-5379-1460

大阪市中央区平野町1-7-14 平野町グランドビル

TEL. 06-6227-1317 FAX. 06-6227-1319

名古屋市中区丸の内3丁目2 1-2 3 宇佐美丸の内ビル

TEL. 052-385-3298 FAX. 052-385-3606

福岡市博多区下川端町1-3 明治通りビジネスセンター別館

TEL. 092-281-9241 FAX. 092-281-9244

なお、記載された商品の仕様・デザインなどは、改良のため予告なく変更することがございます。
ご了承下さい。

<http://www.ucan.co.jp/>
info@ucan.co.jp

No.2180801